



令和4年9月  
浜松市立赤佐幼稚園

9月1日(木)に2学期がスタート。子供たちが久しぶりに登園し、赤佐幼稚園は子供たちの声でとてもにぎやかになりました。「なつやすみのおもいで」には、竹馬を頑張ったことやお祭りに参加したこと、プールで遊んだことや家族でお出かけしたことなどなど・・・、それぞれの御家庭で楽しまれたことが多く記載されており、楽しく夏休みを過ごせたようですね。



新型コロナウイルス感染状況はいまだ収束していませんが、園では今後も感染防止対策を施しながら楽しい生活や遊びを通した子供たちの学びを保障し、しっかりと保育を進めてまいりたいと思います。2学期もよろしくお願いいたします。

## ひまわりまつり大成功！

9月8日(木)にPTA主催の夏まつり「ひまわりまつり」が開催されました。本来は7月14日の予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により2度も延期となってしまいました。それでも「子供たちのために」と、運営方法を検討して下さったPTAの皆さん。また、度重なる変更があっても都合をつけ、ボランティアで協力して下さった皆さんのおかげです。当日は雨天のため、室内での開催となりましたが、廊下で年長組が御神輿を担ぐ姿はとてもしっかりと迫力と賑わいを感じられました。また、各保育室においては「わにわにパニック」や「魚釣り」、「まとあて」などの模擬店が開催され、子供たちが夢中になって遊んでいました。子供たちの喜びと笑顔がいっぱい見られ、開催は大成功だったと思います。PTA役員の皆様、ボランティアの皆さんには心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



手づくりの景品も！  
子供たちは大喜びでした。



この日は、仲良しペア(異学年のペア)の友達と一緒に楽しみ、かかわりを深めました。



## ひまわりまつりの後で①

楽しかったことがあると、それを再現して遊びたがる子供たち。ひまわりまつりが終わった後、さっそく年中組で「ワニワニパニック」の模擬店をつくりたい子がいたようです。このことを受けて、教師は思いの実現に向けた援助を行いました。子供の思いを聞きながら必要なところは手助けし、できるところを子供に任せます。そうやって完成させたものは、子供が自分の力でできた達成感を味わうことにつながります。本物とは出来栄えが違うものの、仕組みは同じものができ、これで子供は十分だったようです。



完成すると、さっそく子供版「ワニワニパニック」の開店です。やりたい友達がお金をもってやってきました。ゲームに参加してワニをたたく子も、裏方で働く子も夢中になって遊んでいましたよ。それぞれに、やりたいことが実現できた満足感を味わえたことでしょう。遊びを通してお互いにかかわりが持てたことも良かったですね。

## ひまわりまつりの後で②

ひまわりまつりに初めての参加した年少組。何をするのかよく分からない状況でスタートし、いろいろ見たり先生と一緒に模擬店に参加したりする中で、ひまわりまつりの楽しさを徐々に実感していったように思います。



年長組による御神輿の練り歩きを見て、間近でその迫力や魅力を感じ、自分たちも同じことをやりたいと思ったようです。ひまわりまつりが終わった後、子供たちの思いを受けた教師が見立てて遊べるものを準備しました。できると子供たちは大喜びし、すぐに夢中になって遊んでいましたよ。見た目は明らかに段ボールなのですが、それで十分見立てて遊べるのは年少組（3歳児）らしいところ。

幼稚園の廊下を端から端まで御神輿を担いで練り歩き、年長組と同じように動く時があれば、職員室の中に入り、教師の机の周りを練り歩くといったオリジナルな動きも見られました（笑）。

雨天のためにやむを得ず廊下で実施しましたが、かえってこのことが年少組にとっては良かったのかもしれない。

どちらの事例も、楽しかったひまわりまつりの体験が基となり、子供たちの思いを出発点として展開された遊びでした。遊びの達成感や満足感といった要素が、子供の心身の成長を促す源となります。

私たち赤佐幼稚園（公立幼稚園）は、子供の思いの実現、主体性を引き出す教育を大切にしています。今後も教育の質の向上に向けて、そうしていきたいと思えます。